

「付録F 申請書共通ボキャブラリ辞書」の利用方法について

本辞書は様式の記載項目に対する申請書共通ボキャブラリを選定する際に利用します。

下記の利用方法を想定しています。

【利用方法】

- (1) 様式の記載項目から、利用すべき申請書共通ボキャブラリを選定します。
 - ・ タグにしたい記載項目に対して利用すべき申請書共通ボキャブラリを選定する際に使用します。
 - ・ 具体的には、タグにしたい記載項目に類似した用語を「記載項目に用いられる用語」の欄から探し出し、これに対応する申請書共通ボキャブラリの「モジュール」を調べます。
- (2) 選定した申請書共通ボキャブラリの適合性を確認します。
 - ・ 実際に申請書共通ボキャブラリを用いて記載項目をもとにタグを定義した際に、選定した申請書共通ボキャブラリが妥当なものであるかを、辞書に挙げた記載項目の用語やタグの例と比較することにより確認する際に使用します。
 - ・ 具体的には、実際に使用した「モジュール」に対する「記載項目に用いられる用語」や「推奨するタグの例」を見て、自分が使用した例を類似したものがあるかを確認します。

【辞書を構成する各項目の説明】

- ・ モジュール
申請書共通ボキャブラリで使用されているモジュールです。
- ・ 記載項目に用いられる用語
様式に存在する記載項目に用いられる用語です。

具体的には、複数の記載事項が存在するものについては個々の記載事項に分解したものです。

修飾的表現が使われている記載項目については、その部分を取り除いたものです。

例えば、「請負人の氏名又は名称及び住所」は次のように分解されます。

「請負人の氏名」

「請負人の名称」

「請負人の住所」

さらに、修飾部分を取り除くと次のようになります。

「～の氏名」

「～の名称」

「～の住所」

- ・ 推奨するタグの例
記載項目に用いられる用語が、実際に使われているタグ名の例です。